

# きらり いわた 人



目指せ東京五輪！  
アーチェリー日本代表初選出

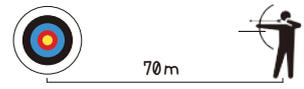
## 小笠原 奨悟 さん

1996年生まれ。長野小学校卒業。浜松学芸中学校、浜松学芸高等学校、同志社大学を経て、今春(株)ベネッセコーポレーション入社。父や兄の影響で小学6年生からアーチェリーを始める。

**オ**リンピック種目の1つであるアーチェリー。今回は日本代表に初選出された小笠原奨悟さんに話を伺いました。

### 教えて！アーチェリー

- 弓を引き、70m離れた的に向かつて矢を射つ
  - 点数は1本の矢につき0〜10点。中央を射貫くほど高得点
  - 6本×12回＝72本の矢を打ち、合計点を争う。
- 満点は720点



### 日本代表になるまでの道のりは

大学1年生の時、全日本学生選手権で優勝しましたが、2年生のときにスランプになったことが原因で、社会人ではアーチェリーをやめようと思っていました。大学4年生になり、入社する会社が決まった後、「やっぱりアーチェリーを続けたい」という思いが強くなり芽生えました。

実業団に入った訳ではないので、競技を続けていくことを会社に納得してもらうためには、日本代表になるしか道はないと思いました。そう決めた時に練習に取り組む姿勢が変わり、目標を達成するためにどのような練習をすれば良いのかを考え、がむしゃらに実

行しました。その結果、日本代表になることができたので、うれしかったです。会社とも話をした結果アーチェリー競技を続けられるようになったため、ほっとしました。

### どのくらい練習をしていますか

多いときは7〜8時間練習場において300〜400本の矢をゆつくり射ち込みます。作業ではなく楽しみながら練習することを心掛けています。

### アーチェリーをしていてよかったと思うことは

アーチェリーの魅力の一つは、誰でも平等にプレーできることです。幅広い世代の人と接する機会があるため、言葉遣いや礼儀作法などが小さい頃から自然と身に付きました。

### 今後の目標と夢を教えてください

目標はオリンピックに出て、活躍することです。代表になってもオリンピック出場までの道は、他の選手と変わりません。まずは今年11月の2020年代表チーム選考会に出場し、良い結果を残すことを目指します。オリンピックに出たいという気持ちをもっと強くして練習していきたいと思っています。夢は生涯現役。アーチェリーを生業楽しみたいです。